発行所　愛媛県西宇和郡瀬戸町役場
編集　瀬戸町役場
TEL　瀬戸局(代表)111
(市外局番 089452)
四ツ浜支所　TEL 大久局 1
(市外局番 089453)

瀬戸広報

生かせ人権
許すな暴力
△他人の人権
侵すまい
△自分の人権は
侵されまい
△あなたもわたしも
守ろう人権
松山地方法務局
愛媛県人権
擁護委員会

年頭に想う

瀬戸町長　松本栄一

昭和四十八年の新春をむかえるにあたり、私は本年こそすべての障害を乗り越えて皆様とともに歩む年に致したいと考えています。

本年は国の内外をとわず、まことに厳しい諸情勢が到来することが予想されます。国際的な経済競争は益々激化し、ベトナム和平を中心に各国がそれぞれの思惑に走り、新しい不安の影が漂っているようです。一方国内においては田中内閣の日本列島改造論の実現推進にともない色々な問題がすでにあらわれております。

わが愛媛県の場合、南予レクレーション開発が計画されておりますが、佐田岬半島はこの枠外におかれております。一方わが町の産業の中心である蜜柑が大暴落し農業全体に暗影がさしてまいりました。年ごとに過疎に悩まされている矢先のことで、町はまさに非常の事態に入ったといわざるを得ません。

私達町政を担当する者はなみなみならぬ覚悟と努力が心要です。役場関係者全員が火の玉となってこの難局に対処し、最大の方策を樹立せねばなりません。本町施策の当面の目標は、蜜柑の大暴落による農業経営の不安定を解決して、農家経済の安定をはかり、深刻化する過疎現象をくいとめることであります。労働力が極度に減少している柑橘産業をいかにして効率化し少費多収の実をあげるか、あるいは漁業部門等による所得向上をはかり本町の立地条件に適応した産業技術開発をいかにすすめるか、私はこれらの問題ととりくむために「産業研究センター」の設立を考えております。

福祉方策は、国、県の施策を本町に完全に実施するとともに廃棄、保処理が完全にできるよう努力をせねばならないと思います。また好評の「老人憩いの家」を順次各部落へつくってゆきたいと思います。

公民館活動として、文化、産業、スポーツ、娯楽等の種目を内容とする各種の学級を各部落に開設して、人間として、心のひろがりと喜びを感ずるようにしたいと思います。一方来月中には昨年観光診断を受けた結果の報告があると思いますので、それを参考にして観光産業施策の基本を決定するつもりであります。

年頭にあたり色々と思いを浮べ、これらを具現して豊かな希望ある文化の町を築くためには、なによりみなさまのご意見を聞き、民主的な町政を進める必要があることを強く感じます。

そのためにも一日町政を各部落に開いて対話の場を保持したいと思います。

皆さまもあくまで健康に留意し、積極的に研鑽を積まれ常に真剣な努力をしていただき、常に討議の姿勢を保持し、本町発展のために町民一丸となって御協力賜りますことを念願してやみません。

産業振興に重点

町政の基本姿勢を打ち出す

町の発展は産業の振興にあるとして、昨年十月十三日結成された瀬戸町産業振興協議会は各業界の代表者を委員に選び第二回目の会合を一月十九日に開催、各種産業の施策、構想について研究討議を行なった。

町ではこの会の意見を参考として産業行政の中に取り入れていく方針である。

委員の氏名は次のとおり（順不同）

上村竹三郎　大野豊作
福島朝行　井上芳久
毛利波一　井上定信
仲元勲
上甲造
久世繁雄
伊勢家満雄　上村隆成
阿部茂久　島津政良
藤川保　井上重久
河野宗術

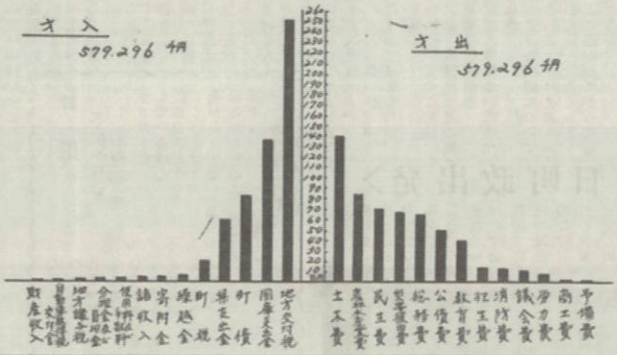
瀬戸町財政のあらまし

瀬戸町の財政状況は年ごとに悪化する傾向で、国、県に依存する財源がほとんどを占め町税はわずかに三%強と所得水準の低さを物語っています。

その結果この実態を基礎に、町民生活に直結した施策を最優先させ、すべて効率的に財政投資を心がけています。

なお県下町村の平均支出費目別比率をあげますと、土木費一九、七%教育費一六、九%総務費一五、九%民生費一三、七%農林水産業費一一、三%です。

昭和47年度一般会計予算


オ入
579.296 円
オ出
579.296 円
地方交付税
国庫支出金
町債
県支出金
土木費
予備費
商工費
消防費
教育費
公債費
総務費
民生費
農林水産費
諸税収入
使用料及手数料
財産収入
地方譲与税
自動車取得税交付金
地方道路譲与税
利子割交付金
自動車税環境性能割交付金
地方消費税交付金
寄附金
繰越金
町税
地方譲与税
地方交付税
地方特例

出稼協議会を結成

農業をめぐる諸情勢と生活水準の上昇に伴なう家計費の増大を反映して、当町においても、昭和三十年代後半より出稼が増加してきた。これら出稼者の労働条件や健康管理における問題の他か、留守家族の貧困、家族、社会機能維持などの諸問題が指摘されてきたところである。

当町では、昭和四十七年一度事業として出稼留守家族の諸問題解決、出稼先との情報機能維持のため、出稼者留守家族による出稼協議会の結成が奨励されたので十二月上旬、各地区連絡協議会結成打合せ会を開いてきた。

現在出稼ぎ就労されている方、今後就労希望されている方は、やがて結成されるこの機関に参加して、安心して出稼就労をしより、と町では呼びかけている。

寒風の中 町駅伝開かる

さる一月十五日第六回町駅伝競争が行われた。参加したのは二十チーム（中学十、高校三、青年団三、一般四）で午前十時四ブ浜中学をスタートした若人達はふりしきる小雨と冷たい風の悪コンディションをはねのけついに一二、七kmを走破、三机中学校庭にゴールインした。

当日の成績はつぎのとおりであった。

中学一位　三机第二中学　大江志津　46 19
二位　四ツ浜　大久A　三位　三机第二（小島）
高校一位　三崎高校B（新）45 05
二位　三崎高校A　三位　川之石高校
青年一位　川之浜青年団　56 15
二位　塩成青年団　三位　三机青年団
一般一位　オレンジ　54 00
二位　商工会　三位　役場

なお参加チームも年ごとに増し応援団、整備員、役員は連休を返上して若い人々のために協力した。

当日第一回以来五年連続出場され自ら精進を重ねるとともに、後輩の指導につくされた左記六氏に教育委員会から感謝状と記念の楯が贈られた。二宮仁夫、阿部春長、真田寿幸、伊勢家圭義、清水太平治、阿部満

出初式挙行

瀬戸町の消防団出初式が、一月十四日に三机小学校校庭で盛大に挙行され、消防自動車二台動力消防ポンプ十三台と地下足袋キャハン姿の消防団員二百余人が参加した。

当日受賞者一覧表

副分団長　木村　敏明
第三分団　団員　坂本　登
第六分団　副分団長　菊池　正
第八分団　団員　西川　甚雄
第九分団　副分団長　浜崎十治郎
第十分団　副分団長　浜口　博一
第十一分団　団員　中原　一夫
第一分団　本部分団　副分団長　上田　寅
第二分団　団員　木野　秀俊
第四分団　副分団長　上田　貞男
第五分団　副分団長　井上　正雄
第六分団　団員　大田　正重
第八分団　団員　坂本　竹市
第九分団　副分団長　真田　正則
第十一分団　班長　松本　勇吉
第十二分団　班長　岡本　岩男
第十二分団　団員　久世　繁藤
一、八西消防連合会長表彰
第三分団（足成）
第四分団（大江）
第五分団（志津）
第六分団（小島）
第七分団（上倉）
第十三分団（佐市）
一、町長特別表彰
第九分団　副分団長　浜口　博一
第十分団
一、八西消防連合会表彰
本部分団　副分団長　上田　寅
第一分団　団員　木野　秀俊
第二分団　班長　上田　貞男
第四分団　副分団長　井上　正雄
第五分団　団員　大田　正重
分団長　梶原　磯雄
一、町長表彰
本部分団　団員
橋本伸一　以下十八名

町特別職きまる

松本町長の就任とともに注目されていた瀬戸町特別職の人事が次のように決まった。

助役藤村、収入役坂本、教育長、丸川各氏

ごあいさつ

藤村泰昭
坂本繁雄
丸川一彦

写真は藤村助役

新春を迎え町民の皆様お変りなくお過ごしのことと思います。

さて私たちは昨年町議会の承認を受け、助役、収入役教育長の大任を引受けることになりました。

「住民の過疎化は進み出稼農家は増え、ミカンの価格は暴落する」という厳しい現実です。

町民の手足となります

本町の台所は一般会計予算が約五億八千万円ですがその殆んどの金は、国、県に依存しておるのが現状でなく郷土の発展と住民福祉のため、或は町教育振興の地方自治の方向を誤ることなく、全力投球する覚悟であります。そして役場職員全員が、皆さんの手足となって、町発展のため町民生活向上のため頑張らなければならないと思います。

私たちは、町長を助け、

今後はご遠慮なくご叱声下さるとともに、よろしくお引廻し下さるようお願いいたしまして、ごあいさつといたします。

納税と税理士

一般の納税者の方にわかりにくい場合の税金の相談にのったり、納税者にかわって申告や申請をするために、民間の税の専門家として、税理士が活動しています。

この税理士としての業務は、定められた試験に合格して、税理士の登録の受付税理士会に入会している人か、弁護士、公認会計士で一定の手続をしてるい人でなければできません。

今年も所得税の確定申告期が近ずいてきましたが、この時期の

①税金についてのご相談
②申告書、申請書などの税務書類の作成依頼
③確定申告等についての代理依頼

以上のような問題について依頼されるときはその人が正規の税理士であるかどうか、よく確かめてからにしてください。

税についての専門知識や経験が乏しく、定められた資格を持っていない「にせ税理士」は、非常に無責任で、その場限りの処理などのため、後で依頼された納税者の方にご迷惑がかかる場合などもある。

当局では、にせ税理士に対して、きびしい態度でのぞみこれを取締まっている。

詩　母

大久小学校六年　小野瀬博幸

サッカーを
しているぼく
仕事をひとりで
みかんとりで
いそがしいのに
ぼくは
サッカーをしている

人手がたりなくて
ひとりで
こまっている母
こんなに
いそがしい時でも
サッカーの練習をさして
くれる母
よしぼくはきっと
レギュラーになってやる

農地売買について

昭和四十七年十二月より農地の移動に関する解決基準である瀬戸町農地移動適正化斡旋基準が施行されました。

農地の売買については、農地の移動に関する解決基準に基づいて、農業委員会に相談するか地元農業委員に相談するか瀬戸町農業委員会の方へ問い合わせるなどして、事故のないより解決してください。農業委員会では、農地移動斡旋基準、その他農地移動における問題解決策を指導しております。

人々のうごき

昭和47年12月末現在

世帯数	1,674
人口	5,297
男	2,462
女	2,855

〈一日町政出発〉

町はこのほど三机を皮切りに各部落ごとに、まもなく一日町政を展開、町民の民主的な意見をくみあげて、町政に反映させている。

志津集会所における一日町政

昭和四十七年十二月分

婚姻

死亡